

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（設定日：2015年11月12日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、日系企業が海外で発行する外貨建ての債券等に投資することにより、安定的な収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 日系企業外貨建て債券マザーファンド 日系企業が海外で発行する外貨建ての債券等
当ファンドの運用方法	■主として、日系企業が海外で発行する外貨建ての債券等に投資することにより、安定的な収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。 ■ポートフォリオ構築にあたっては各国金利見通しおよび個別企業調査に基づく銘柄選定を行い、業種配分、デュレーション、流動性などを勘案します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 日系企業外貨建て債券マザーファンド ■株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年2回（原則として毎年4月および10月の30日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

日系企業海外債券 オープン (為替ヘッジあり) 【愛称：日本びより】 【運用報告書(全体版)】

(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

第 19 期
決算日 2025年4月30日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、日系企業が海外で発行する外貨建ての債券等に投資することにより、安定的な収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。

当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

日系企業海外債券オープン（為替ヘッジあり）【愛称：日本びより】

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■最近5期の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額		公社債組入比率	債券先物比率 (買建-売建)	純資産総額
	税込分配金	期中騰落率			
15期(2023年5月1日)	円 9,084	円 10	% 3.5	% 97.0	% △2.4 百万円 24,226
16期(2023年10月30日)	8,628	10	△4.9	96.2	— 32,168
17期(2024年4月30日)	8,924	10	3.5	101.8	— 35,308
18期(2024年10月30日)	9,054	10	1.6	98.1	— 36,679
19期(2025年4月30日)	8,916	10	△1.4	94.6	— 33,344

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指標がないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		公社債組入比率	債券先物比率 (買建-売建)
		騰落率		
(期首) 2024年10月30日	円 9,054	% —	% 98.1	% —
10月末	9,051	△0.0	98.1	—
11月末	9,075	0.2	92.0	—
12月末	8,957	△1.1	96.5	—
2025年1月末	8,967	△1.0	95.2	—
2月末	9,038	△0.2	92.8	—
3月末	8,945	△1.2	98.2	△9.2
(期末) 2025年4月30日	8,926	△1.4	94.6	—

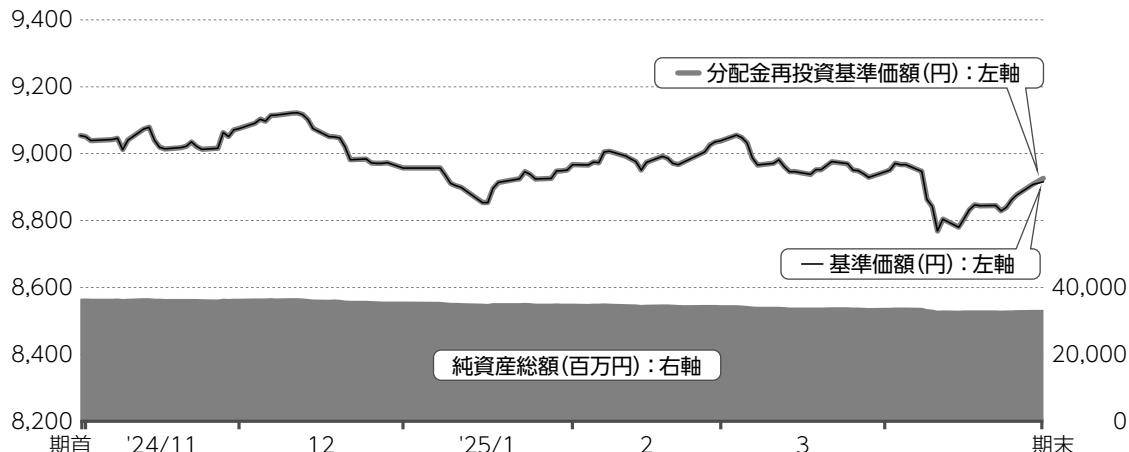
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期 頭	9,054円
期 末	8,916円 (既払分配金10円(税引前))
騰 落 率	-1.4% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指標がないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

日系企業海外債券オープン（為替ヘッジあり）【愛称：日本びより】

基準価額の主な変動要因(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日系企業が海外で発行する外貨建ての債券等に投資しました。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いました。

上昇要因

- 社債の金利収入
- F R B (米連邦準備制度理事会)の利下げ期待が高まり、短中期の社債利回りが低下(価格は上昇)したこと

下落要因

- 為替ヘッジコスト
- 米国債利回りは低下したものの、社債スプレッド(国債に対する上乗せ金利)が前期末対比で拡大したこと、長期の社債利回りが上昇したこと

日系企業海外債券オープン（為替ヘッジあり）【愛称：日本びより】

投資環境について(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

米国社債の5年債利回りは低下、10年債利回りは上昇しました。

米国債利回りは、トランプ新政権による財政悪化懸念やインフレ上昇リスクを背景に、2024年末から2025年初にかけて上昇しました。2025年2月以降は、米国景気悪化への懸念などから、低下に転じました。ドイツ債利回りは財政規律緩和への懸念から3月に大幅に上昇しましたが、4月には上昇幅を縮小しました。オーストラリア国債利回りは

低下しました。

社債スプレッドは、堅調な企業業績にサポートされていたものの、トランプ政権の関税政策によって市場のセンチメント（心理）が悪化したことで、2月以降は拡大傾向で推移しました。その結果、短中期の社債利回りは低下、長期の社債利回りは上昇しました。

ポートフォリオについて(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

当ファンド

期を通じて「日系企業外貨建て債券マザーファンド」を高位に組み入れました。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いました。

日系企業外貨建て債券マザーファンド

●格付け別配分

A格の組入比率を高めとして、一部B B B格へ配分しました。ファンドで保有する債券の平均格付けはA格となっています。

●デュレーション（投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度）

ポートフォリオのデュレーションは6年程度とし、満期構成では残存期間1年～10年の債券に加え超長期債にも配分しました。

※繰上償還条項が付与されている場合は、原則として繰上償還発効日を償還日とみなしています。

●業種別配分

業種別では保険や銀行など金融セクターに加え、消費安定や消費循環、運輸や政府機関など分散して配分しました。

ベンチマークとの差異について(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

ベンチマークおよび参考指標を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第19期
当期分配金	10
(対基準価額比率)	(0.11%)
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,424

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

② 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「日系企業外貨建て債券マザーファンド」を高位に組み入れて運用を行います。また、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用します。

日系企業外貨建て債券マザーファンド

米国では、景気減速に対する警戒によってF R B の利下げ期待が高まる一方、財政拡大への懸念は金利上昇要因になると想定されます。そのため、国債利回りは横ばいの展開を

予想しています。他の先進国の国債利回りも、もみ合いの推移を予想しています。社債スプレッドについては、米国の関税政策などにより当面神経質な展開が続くことが予想されます。しかし、景気が大崩れせず企業が比較的健全な財務を維持することを想定し、社債スプレッドは総じて安定的に推移すると予想しています。また、日本企業の財務状況は引き続き健全と判断しています。

こうした投資環境見通しをベースに、通貨分散や業種分散を図りながら、社債発行企業の信用力評価に注意し、インカムを享受する方針です。加えて、新規に発行される日系企

業の債券など新たな投資機会を見出した際に
は、追加購入や入替売買等によりポートフォ
リオの収益向上を図っていく考えです。

③ お知らせ

約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。
(適用日：2025年4月1日)

日系企業海外債券オープン（為替ヘッジあり）【愛称：日本びより】

1万口当たりの費用明細(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	46円	0.513%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は8,974円です。 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファン ドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図 の実行等の対価
(投信会社)	(22)	(0.247)	
(販売会社)	(22)	(0.247)	
(受託会社)	(2)	(0.019)	
(b) 売買委託手数料	0	0.001	売買委託手数料=期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(株式)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税=期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する 税金
(株式)	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.008	その他費用=期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管お よび資金の送回金・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(1)	(0.006)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他の)	(-)	(-)	
合計	47	0.522	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

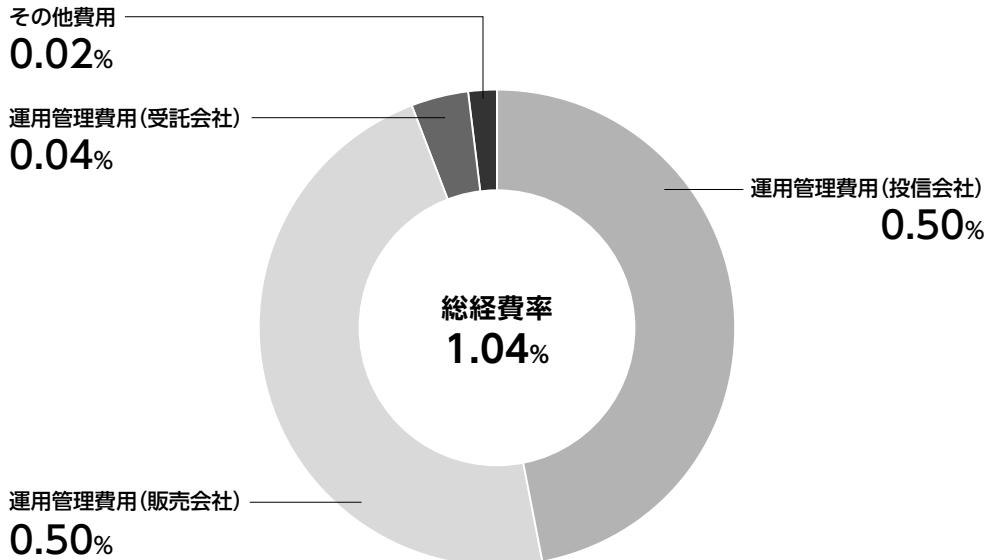
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額
のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.04%です。

日系企業海外債券オープン（為替ヘッジあり）【愛称：日本びより】

■当期中の売買及び取引の状況(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日系企業外貨建て債券マザーファンド	千口 856,055	千円 1,350,000	千口 2,418,642	千円 3,887,470

■利害関係人との取引状況等(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

(1)利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(2)利害関係人の発行する有価証券等

日系企業外貨建て債券マザーファンド

種 類	買 付 額	売 付 額	期 末 保 有 額
公 社 債	百万円 —	百万円 392	百万円 1,892

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、株式会社三井住友フィナンシャルグループ、三井住友ファイナンス＆リース株式会社です。

日系企業海外債券オープン（為替ヘッジあり）【愛称：日本びより】

■第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年10月31日から2025年4月30日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■組入れ資産の明細(2025年4月30日現在)

親投資信託残高

種類	期首(前期末)	期末	
	口数	口数	評価額
日系企業外貨建て債券マザーファンド	千口 22,902,720	千口 21,340,133	千円 32,857,403

※日系企業外貨建て債券マザーファンドの期末の受益権総口数は31,352,346,810口です。

■投資信託財産の構成

(2025年4月30日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
日系企業外貨建て債券マザーファンド	千円 32,857,403	% 97.4
コール・ローン等、その他	871,054	2.6
投資信託財産総額	33,728,458	100.0

※日系企業外貨建て債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産(47,427,528千円)の投資信託財産総額(48,995,295千円)に対する比率は96.8%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=142.57円、1オーストラリア・ドル=90.96円、1イギリス・ポンド=191.09円、1ユーロ=162.17円です。

日系企業海外債券オープン（為替ヘッジあり）【愛称：日本びより】

■資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年4月30日現在)

項目	期末
(A) 資産	67,689,023,708円
コール・ローン等	243,909,066
日系企業外貨建て債券	32,857,403,496
マザーファンド(評価額)	
未収入金	34,587,711,146
(B) 負債	34,344,304,718
未払本金	34,075,658,353
未払収益分配金	37,399,396
未払解約金	49,967,158
未払信託報酬	180,411,604
その他未払費用	868,207
(C) 純資産総額(A-B)	33,344,718,990
元本	37,399,396,114
次期繰越損益金	△4,054,677,124
(D) 受益権総口数	37,399,396,114口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,916円

※当期における期首元本額40,510,532,082円、期中追加設定元本額850,208,733円、期中一部解約元本額3,961,344,701円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■損益の状況

(自2024年10月31日 至2025年4月30日)

項目	当期
(A) 配当等収益	400,696円
受取利息	400,696
(B) 有価証券売買損益	△ 298,269,747
売買益	3,125,564,328
売買損	△ 3,423,834,075
(C) 信託報酬等	△ 181,279,811
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 479,148,862
(E) 前期繰越損益金	△ 453,937,014
(F) 追加信託差損益金	△ 3,084,191,852
(配当等相当額)	(6,956,283,397)
(売買損益相当額)	(△10,040,475,249)
(G) 合計(D+E+F)	△ 4,017,277,728
(H) 収益分配金	△ 37,399,396
次期繰越損益金(G+H)	△ 4,054,677,124
追加信託差損益金	△ 3,084,191,852
(配当等相当額)	(6,958,698,718)
(売買損益相当額)	(△10,042,890,570)
分配準備積立金	2,107,609,804
繰越損益金	△ 3,078,095,076

※有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	553,302,398円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	6,958,698,718
(d) 分配準備積立金	1,591,706,802
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	9,103,707,918
1万口当たり当期分配対象額	2,434.19
(f) 分配金	37,399,396
1万口当たり分配金	10

■分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	当期
	10円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

日系企業外貨建て債券マザーファンド

第19期（2024年10月31日から2025年4月30日まで）

信託期間	無期限（設定日：2015年11月12日）
運用方針	<p>■主として、日系企業が海外で発行する外貨建ての債券等に投資することにより、安定的な収益の確保と信託財産の成長を目指します。</p> <p>■ポートフォリオ構築にあたっては各国情利見通しおよび個別企業調査に基づく銘柄選定を行い、業種配分、デュレーション、流動性などを勘案し決定します。</p> <p>■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p>

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額	基 準 価 額		公組入比率	債 債 率	債券先物率 (買建-売建)	純総資産額
		期中	騰落率				
15期(2023年5月1日)	円 13,309	% △ 0.4		% 96.5	% △2.4	%	百万円 34,728
16期(2023年10月30日)	14,002	5.2		94.7	—	—	45,197
17期(2024年4月30日)	15,776	12.7		96.3	—	—	52,639
18期(2024年10月30日)	16,242	3.0		96.8	—	—	53,948
19期(2025年4月30日)	15,397	△ 5.2		96.0	—	—	48,272

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指標がないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

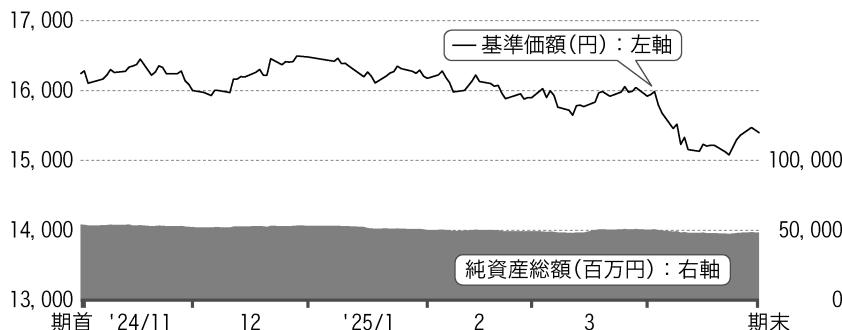
年月日	基 準 価 額	基 準 価 額		公組入比率	債 債 率	債券先物率 (買建-売建)	%
		騰落率					
(期首) 2024年10月30日	円 16,242	% —		% 96.8	%	—	—
10月末	16,281	0.2		97.1	—	—	—
11月末	16,000	△1.5		94.3	—	—	—
12月末	16,480	1.5		94.7	—	—	—
2025年1月末	16,176	△0.4		97.3	—	—	—
2月末	15,898	△2.1		96.4	—	—	—
3月末	15,921	△2.0		96.8	—	△9.1	—
(期末) 2025年4月30日	15,397	△5.2		96.0	—	—	—

※騰落率は期首比です。

① 運用経過

▶ 基準価額等の推移について(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

基準価額等の推移



▶ 基準価額の主な変動要因(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

当ファンドは、日系企業が海外で発行する外貨建ての債券等に投資しました。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・社債の金利収入 ・F R B (米連邦準備制度理事会) の利下げ期待が高まり、短中期の社債利回りが低下（価格は上昇）したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・トランプ政権の関税政策に対する懸念などを背景に為替が円高で推移したこと ・米国債利回りは低下したものの、社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）が前期末対比で拡大したことで、長期の社債利回りが上昇したこと

▶ 投資環境について(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

米国社債の5年債利回りは低下、10年債利回りは上昇しました。為替は円高で推移しました。

債券市場

米国債利回りは、トランプ新政権による財政悪化懸念やインフレ上昇リスクを背景に、2024年末から2025年初にかけて上昇しました。2025年2月以降は、米国景気悪化への懸念などから、低下に転じました。ドイツ国債利回りは財政規律緩和への懸念から3月に大幅に上昇しましたが、4月には上昇幅を縮小しました。オーストラリア国債利回りは低下しました。

社債スプレッドは、堅調な企業業績にサポートされていたものの、トランプ政権の関税政策によって市場のセンチメント（心理）が悪化したこと、2月以降は拡大傾向で推移しました。その結果、短中期の社債利回りは低下、長期の社債利回りは上昇しました。

為替市場

為替相場は、海外金利の上昇や日銀の政策金利引き上げの見送りなどの影響で2024年末にかけて円安となる局面もありましたが、その後は海外金利の低下や米国からの資金流出懸念などを背景に円高に転じました。

▶ ポートフォリオについて(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

格付け別配分

A格の組入比率を高めとして、一部B B B格へ配分しました。ファンドで保有する債券の平均格付けはA格となっています。

デュレーション（投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度）

ポートフォリオのデュレーションは6年程度とし、満期構成では残存期間1年－10年の債券に加え超長期債にも配分しました。

※線上償還条項が付与されている場合は、原則として線上償還発効日を償還日とみなしています。

業種別配分

業種別では保険や銀行など金融セクターに加え、消費安定や消費循環、運輸や政府機関など分散して配分しました。

▶ ベンチマークとの差異について(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

② 今後の運用方針

米国では、景気減速に対する警戒によって F R B の利下げ期待が高まる一方、財政拡大への懸念は金利上昇要因になると想定されます。そのため、国債利回りは横ばいの展開を予想しています。他の先進国の国債利回りも、もみ合いの推移を予想しています。社債スプレッドについては、米国の関税政策などにより当面神経質な展開が続くことが予想されます。しかし、景気が大崩れせず企業が比較的健全な財務を維持することを想定し、社債スプレッドは総じて安定的に推移すると予想しています。また、日本企業の財務状況は引き続き健全と判断しています。

為替市場については、F R B の利下げに対する期待や日本銀行の利上げ姿勢は米ドル安・円高要因となる一方、関税政策の緩和や米景気持ち直しへの期待は米ドル高要因となるため、米ドル・円は横ばいを予想しています。ユーロ・円や豪ドル・円も、もみ合う展開を想定しています。

こうした投資環境見通しをベースに、通貨分散や業種分散を図りながら、社債発行企業の信用力評価に注意し、インカムを享受する方針です。加えて、新規に発行される日系企業の債券など新たな投資機会を見出した際には、追加購入や入替売買等によりポートフォリオの収益向上を図っていく考えです。

日系企業外貨建て債券マザーファンド

■ 1万口当たりの費用明細(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)	0.001% (0.001)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.006 (0.006)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
合計	1	0.007	

期中の平均基準価額は16,010円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

(1) 公社債

			買付額	売付額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 20,378
	オーストラリア	社債券	30,085	24,886
	イギリス	特殊債券	千オーストラリア・ドル —	千オーストラリア・ドル 7,596
	ユーロ	社債券	千イギリス・ポンド 1,965	千イギリス・ポンド —
	その他の	社債券	千ユーロ 4,036	千ユーロ 1,047

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(2) 先物取引の種類別取引状況

種類別		買建		売建	
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外國	債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 12,815	百万円 12,741

※金額は受渡し代金。

※外国の取引金額は、各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

日系企業外貨建て債券マザーファンド

■利害関係人との取引状況等(2024年10月31日から2025年4月30日まで)

(1)利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(2)利害関係人の発行する有価証券等

種類	買付額	売付額	期末保有額
	百万円	百万円	百万円
公社債	—	392	1,892

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、株式会社三井住友フィナンシャルグループ、三井住友ファイナンス＆リース株式会社です。

■第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年10月31日から2025年4月30日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■組入れ資産の明細(2025年4月30日現在)

公社債

A 債券種類別開示

外国(外貨建)公社債

区分	額面金額	期末						
		評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
アメリカ	千アメリカ・ドル 215,074	千アメリカ・ドル 208,868	千円 29,778,319		% 61.7	% —	% 58.5	% 3.2
	千オーストラリア・ドル 86,950	千オーストラリア・ドル 82,314	7,487,350	15.5	—	4.9	4.2	6.4
イギリス	千イギリス・ポンド 5,000	千イギリス・ポンド 4,707	899,632	1.9	—	1.9	—	—
ユーロ	千ユーロ 12,700	千ユーロ 12,512	2,029,190	4.2	—	4.2	—	—
その他	38,000	37,865	6,140,603	12.7	—	12.7	—	—
合計	—	—	46,335,096	96.0	—	82.2	7.5	6.4

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

日系企業外貨建て債券マザーファンド

B 個別銘柄開示
外国(外貨建)公社債

区分	銘柄	種類	期末				償還年月日	
			利 率	額面金額	評価額			
					外貨建金額	邦貨換算金額		
ア メ リ カ	MITSUBUFJ FIN	社債券	4.1530	3,000	2,687	383,193	2039/03/07	
	DAI-ICHI LIFE INSURANCE	社債券	4.0000	2,000	1,969	280,794	— (※)	
	DAI-ICHI LIFE HOLDINGS	社債券	6.2000	15,000	14,951	2,131,599	— (※)	
	DAI-ICHI LIFE INSURANCE	社債券	4.0000	4,900	4,825	687,946	— (※)	
	mitsui sumitomo INSURANC	社債券	4.9500	8,000	7,886	1,124,398	— (※)	
	NIPPON LIFE INSURANCE	社債券	2.9000	3,000	2,535	361,556	2051/09/16	
	NIPPON LIFE INSURANCE	社債券	2.7500	2,000	1,710	243,797	2051/01/21	
	NIPPON LIFE INSURANCE	社債券	6.2500	2,000	2,028	289,263	2053/09/13	
	NIPPON LIFE INSURANCE	社債券	6.5000	5,000	5,088	725,503	2055/04/30	
	NIPPON LIFE INS	社債券	4.7000	2,000	1,994	284,355	2046/01/20	
	NIPPON LIFE INS	社債券	4.0000	3,500	3,396	484,304	2047/09/19	
	NIPPON LIFE INS	社債券	3.4000	2,000	1,830	260,974	2050/01/23	
	mitsubishi corp	社債券	5.0000	2,000	2,042	291,241	2029/07/02	
	mitsubishi corp	社債券	5.1250	3,300	3,323	473,764	2034/07/17	
	meiji yasuda life insura	社債券	5.1000	6,500	6,459	920,931	2048/04/26	
	meiji yasuda life insura	社債券	5.8000	10,000	9,747	1,389,701	2054/09/11	
	meiji yasuda lif	社債券	5.2000	8,500	8,499	1,211,772	2045/10/20	
	JT INTL FIN SERVICES BV	社債券	3.3000	4,000	2,579	367,739	2051/09/14	
	SUMITOMO MITSUI FINL GRP	社債券	6.1840	3,000	3,188	454,531	2043/07/13	
	SUMITOMO MITSUI FINL GRP	社債券	5.8360	8,000	8,060	1,149,239	2044/07/09	
	mitsubishi UFJ FIN GRP	社債券	5.4410	2,000	2,034	290,095	2034/02/22	
	NOMURA HOLDINGS INC	社債券	2.6080	3,000	2,599	370,589	2031/07/14	
	NOMURA HOLDINGS INC	社債券	5.7830	10,000	10,181	1,451,519	2034/07/03	
	NOMURA HOLDINGS	社債券	3.1030	2,000	1,847	263,395	2030/01/16	
	CENT JAPAN RAIL	社債券	4.2500	3,500	2,944	419,814	2045/11/24	
	TAKEDA PHARMACEUTICAL	社債券	5.6500	3,000	2,894	412,675	2054/07/05	
	TAKEDA PHARMACEUTICAL	社債券	5.8000	3,000	2,905	414,194	2064/07/05	
	TAKEDA PHARM	社債券	3.0250	9,000	6,649	947,950	2040/07/09	
	SUMITOMO LIFE INSUR	社債券	3.3750	4,279	3,803	542,249	2081/04/15	
	SUMITOMO LIFE INSUR	社債券	5.8750	10,000	9,809	1,398,568	— (※)	
	SUMITOMO LIFE	社債券	4.0000	5,000	4,863	693,446	2077/09/14	
	SUMITOMO CORP	社債券	5.3500	10,000	10,163	1,448,967	2034/07/03	
	MARUBENI CORP	社債券	5.3830	10,000	10,115	1,442,166	2035/04/01	
	mitsubishi hc fin amer	社債券	5.6580	13,000	13,318	1,898,874	2033/02/28	
	SUNTORY HOLDINGS LTD	社債券	5.1240	3,000	3,064	436,931	2029/06/11	
	PANASONIC HOLDINGS CORP	社債券	5.3020	6,000	6,059	863,914	2034/07/16	
	PROTECTIVE LIFE CORP	社債券	3.4000	2,090	1,975	281,672	2030/01/15	
	SUMITOMO MITSUI FINANCE	社債券	5.1090	2,000	2,024	288,684	2029/01/23	
	FUKOKU MUTUAL LIFE INSUR	社債券	6.8000	10,000	10,308	1,469,739	— (※)	
	FUKOKU MUTUAL LIFE INSUR	社債券	5.0000	6,505	6,496	926,258	— (※)	
小 計				215,074	208,868	29,778,319	—	
オーストラリア	SHIZUOKA PREFECTURE JAPAN FIN ORG MUNICIPAL	地方債証券 特殊債券	1.4880 1.4360	キオーストラリア・ドル 11,000 20,000	キオーストラリア・ドル 9,531 16,595	866,965 1,509,535	2030/09/03 2030/10/28	

日系企業外貨建て債券マザーファンド

区分	銘柄	種類	期末				
			利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日	
					外貨建金額	邦貨換算金額	
	DEVELOPMENT BK OF JAPAN ORIX AUSTRALIA CORP LTD TOYOTA MOTOR FINANCE BV TOYOTA FINANCE AUSTRALIA TOYOTA MOTOR CREDIT CORP MIZUHO FINANCIAL GROUP MITSUBISHI HC CAP UK PLC	特殊債券 社債券 社債券 社債券 社債券 社債券 社債券	3.6090 5.2770 2.1200 5.2000 0.8200 6.0250 5.8050	15,000 20,000 1,300 4,450 4,000 3,000 8,200	14,762 20,293 1,250 4,550 3,821 3,146 8,363	1,342,787 1,845,887 113,727 413,948 347,558 286,218 760,722	2027/05/10 2027/03/04 2027/02/01 2028/09/15 2026/07/30 2029/08/28 2026/12/07
	小計			86,950	82,314	7,487,350	—
イギリス	EAST JAPAN RAILWAY CO	社債券	5.5620	千イギリス・ポンド 5,000	千イギリス・ポンド 4,707	899,632	2054/09/04
	小計			5,000	4,707	899,632	—
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
オランダ	JT INTL FIN SERVICES BV JT INTL FIN SERVICES BV JT INTL FIN SERVICES BV	社債券 社債券 社債券	2.8750 2.3750 3.6250	4,000 7,700 1,000	3,883 7,641 987	629,809 1,239,231 160,149	2083/10/07 2081/04/07 2034/04/11
その他	NIPPON LIFE INSURANCE MITSUBISHI UFJ FIN GRP MIZUHO FINANCIAL GROUP MIZUHO FINANCIAL GROUP TAKEDA PHARMACEUTICAL EAST JAPAN RAILWAY CO EAST JAPAN RAILWAY CO EAST JAPAN RAILWAY CO	社債券 社債券 社債券 社債券 社債券 社債券 社債券 社債券	4.1140 4.6360 4.0290 4.4160 2.0000 1.1040 4.1100 4.3890	4,000 4,500 2,000 8,000 4,000 1,000 12,500 2,000	3,905 4,819 2,069 8,483 3,120 706 12,670 2,091	633,299 781,556 335,594 1,375,759 506,061 114,534 2,054,693 339,103	2055/01/23 2031/06/07 2032/09/05 2033/05/20 2040/07/09 2039/09/15 2043/02/22 2043/09/05
	小計			50,700	50,377	8,169,794	—
	合計			—	—	46,335,096	—

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※償還年月欄に(※)の記載がある銘柄は永久劣後債であり、償還期限の定めがありません。一定の場合を除いて償還されずに利払いが継続される債券のことをいいます。

■投資信託財産の構成

(2025年4月30日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 46,335,096	% 94.6
コ ー ル・ロ ー ン 等、そ の 他	2,660,198	5.4
投 資 信 託 財 产 総 額	48,995,295	100.0

※期末における外貨建資産(47,427,528千円)の投資信託財産総額(48,995,295千円)に対する比率は96.8%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=142.57円、1オーストラリア・ドル=90.96円、1イギリス・ポンド=191.09円、1ユーロ=162.17円です。

日系企業外貨建て債券マザーファンド

■資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年4月30日現在)

項目	期末
(A) 資産	48,995,295,015円
コール・ローン等	887,786,618
公社債(評価額)	46,335,096,703
未収入金	986,458,861
未収利息	615,696,744
前払費用	3,698,109
差入委託証拠金	166,557,980
(B) 負債	722,794,258
未払金	722,794,258
(C) 純資産総額(A-B)	48,272,500,757
元本	31,352,346,810
次期繰越損益金	16,920,153,947
(D) 受益権総口数	31,352,346,810口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,397円

※当期における期首元本額33,215,445,683円、期中追加設定元本額1,310,034,053円、期中一部解約元本額3,173,132,926円です。
※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。
日系企業海外債券オープン(為替ヘッジあり) 21,340,133,465円
日系企業海外債券オープン(為替ヘッジなし) 6,761,625,389円
SMAM・日系企業海外債券オープン(為替ヘッジあり) <適格機関投資家認定> 3,250,587,956円
※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■お知らせ <約款変更について>

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。

■損益の状況 (自2024年10月31日 至2025年4月30日)

項目	当期
(A) 配当等収益	1,075,650,821円
受取利息	1,072,713,487
その他の収益	2,937,334
(B) 有価証券売買損益	△ 3,643,088,206
売買益	316,804,788
売買損	△ 3,959,892,994
(C) 先物取引等損益	△ 78,791,891
取引益	750,948
取引損	△ 79,542,839
(D) その他費用等	△ 3,031,313
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 2,649,260,589
(F) 前期繰越損益金	20,733,026,663
(G) 解約差損益金	△ 1,928,844,074
(H) 追加信託差損益金	765,231,947
(I) 合計(E+F+G+H)	16,920,153,947
次期繰越損益金(I)	16,920,153,947

※有価証券売買損益および先物取引等損益は期末の評価換算によるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約額を差し引いた差額分をいいます。